

一般廃棄物処理施設立地検討業務委託に係る事業者選定
公募型プロポーザル審査結果について

標記の件について、優先交渉権者を決定しましたので、審査委員会の審査結果及び講評を報告します。

1 審査結果

優先交渉権者：パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社

審査項目／提案受付番号	A
業務実績等の得点	45／45
企画提案の得点	122.3／165
見積価格の得点	90／90
合計点	257.3／300

2 講評

本件については、公募型プロポーザル方式により、一般廃棄物処理施設立地検討業務の委託事業者の募集を行い、1者から応募があり、実施要領に基づき優先交渉権者としての適否を審査した。

優先交渉権者となった「パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社」は、所属する技術士数が豊富であることに加え、業務実績が多く、一次審査において高い得点を得た。

企画提案書では、業務実施方針や体制において、管理技術者の出席を必須とする月1回の定例会議の提案のほか、重要な時期における個別協議を提案している点などから、今回の立地検討の重要性を十分に理解しているものと評価した。また、実施スケジュールは、自治体の運営スケジュールを考慮したものとなっており、高評価であった。

特に、業務に関する提案は、泉北クリーンセンター整備基本構想で整理された立地検討方法の考え方を理解した内容となっており、独自提案においても、業務を効率的に進めるための提案や地域循環共生圏の考え方を取り入れた比較評価案の方向性が示されており、これからの廃棄物処理施設に求められる各要件を十分踏まえた立地検討となることを期待するものである。

プレゼンテーションは、限られた時間にも関わらず、提案内容が要約され分かりやすいものであった。また、ヒアリングにおいても、事業への認識や組合への協力体制等、熱意が感じられるものであり、これまでの業務実績を生かし、本業務を実施する

ことが期待できるものであった。

各委員からは、立地検討業務について、短期間のスケジュールの中、業務を完遂しなければならず、また、構成3市においても、進捗を随時報告する必要があるため、事務局と採択事業者の役割を明確にし、遅滞なく進めることに期待する。

また、昨今、物価高騰、人件費が高騰していく中、様々な比較評価、様々なパターンを想定した検討がなされることに期待するという意見もあった。

最後に、今回、優先交渉権者に特定された事業者には、業務の実施について組合と十分な協議を行い、今回の審査に携わった委員の意見を反映し、質の高い立地検討業務を確実に実行していただくよう、申し添える。

3. 審査の経過

審査の経過は下表のとおりです。

日 程	内 容
令和5年	
11月10日	第1回審査委員会
11月14日	実施要領等の告示
11月27日	実施要領等への質疑受付締切
11月27日	参加申込書の受付締切
11月28日	参加資格確認の通知
12月14日	提案書の提出期限
12月20日	第2回審査委員会（ヒアリング、最終審査）